積水ハウス・リート投資法人

2026年10月30日

各　位

不動産投資信託証券発行者名
積水ハウス・リート投資法人
代表者名　執行役員　大　谷　仁　誉
（コード番号：3309）
資産運用会社名
積水ハウス・アセットマネジメント株式会社
代表者名　代表取締役社長　藤　原　寿　光
問合せ先　経営企画部ＩＲ室長　齋　藤　孝　一
TEL. 03-6447-4870（代表）

GRESB リアルエステイト評価における「アジア・セクターリーダー」選出に関するお知らせ

積水ハウス・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2026年に実施されたGRESBリアルエステイト評価において、住宅セクター（上場）における「アジア・セクターリーダー」に選出されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. GRESB評価結果について

本投資法人は、2026年GRESBリアルエステイト評価において、総合スコアのグローバル順位により5段階で格付されるGRESBレーティングで「3スター」を取得するとともに、住宅セクター（上場）における「アジア・セクターリーダー」に選出されました。「セクターリーダー」は、各地域・セクターにおいて、総合スコアが最も高い参加者及びその点差が1点以内の参加者に与えられる称号です。

また、サステナビリティ推進のための方針や組織体制等を評価する「マネジメント・コンポーネント」及び保有物件でのサステナビリティ関連パフォーマンスやテナントとの取組み等を評価する「パフォーマンス・コンポーネント」の双方において、50%以上の得点を取得した参加者であることを示す「グリーンスター」の評価を10年連続で獲得しています。

さらに、本投資法人は、GRESBレジデンシャル評価に本年より参加し、アジア地域の参加者の中で第1位となりました。「レジデンシャル・コンポーネント」は、住宅用途アセットのベンチマーキングであり、GRESBリアルエステイト評価とは別にレジデンシャル評価としての総合スコアが付与されます。なお、同評価はGRESBリアルエステイト評価を代替するものではなく、補助的な評価と位置付けられています。

併せて、サステナビリティ情報開示の充実度を測るGRESB開示評価においても、サステナビリティ情報開示の取組みが高く評価され、7年連続で最上位である「A」の評価を取得しました。

2. 本投資法人の今後の対応

本投資法人は、ESG（環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance））へ配慮した不動産投資運用を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

本投資法人は、環境性能に優れた不動産への投資に向け、ESG経営のリーディングカンパニーを目指すスポンサーである積水ハウス株式会社が有する不動産の運営管理に関するノウハウを活用し、今後も保有資産におけるテナント満足度の向上に即した省エネルギー・環境配慮、生活の安全性や事業の継続性の確保等を一層推進していきたいと考えています。

本投資法人のESGへの取組みの詳細については、本投資法人の「ESG特設サイト」をご覧ください。

（ご参考）GRESBの概要について

GRESB は、不動産会社及びファンドのサステナビリティ配慮を測る年次のベンチマーク評価及びそれを運営する組織の名称であり、責任投資原則（PRI）を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に 2009 年に創設されました。GRESB における評価は個々の不動産を対象としたものではなく、不動産会社や REIT、ファンド毎のサステナビリティへの取組みを評価するという点を特徴としています。

投資先の選定や投資先との対話に多くの機関が GRESB データを活用しており、日本でも年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）をはじめ、複数の機関が GRESB 評価結果を利用しています。

GRESB に関する詳細については、GRESB のウェブサイト（https://gresb.com/）（英語サイト）をご覧ください。

以　上

※　本投資法人のウェブサイト：https://sekisuihouse-reit.co.jp/